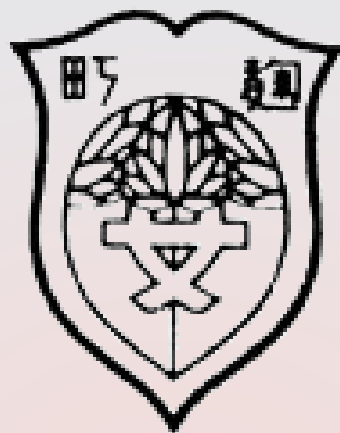




ダブルディプロマプログラム

麴町学園女子中学校高等学校



ダブルディプロマとは

- 現地校で卒業資格を取得する留学スタイル
- 単なる『留学経験』ではアドバンテージにならない。



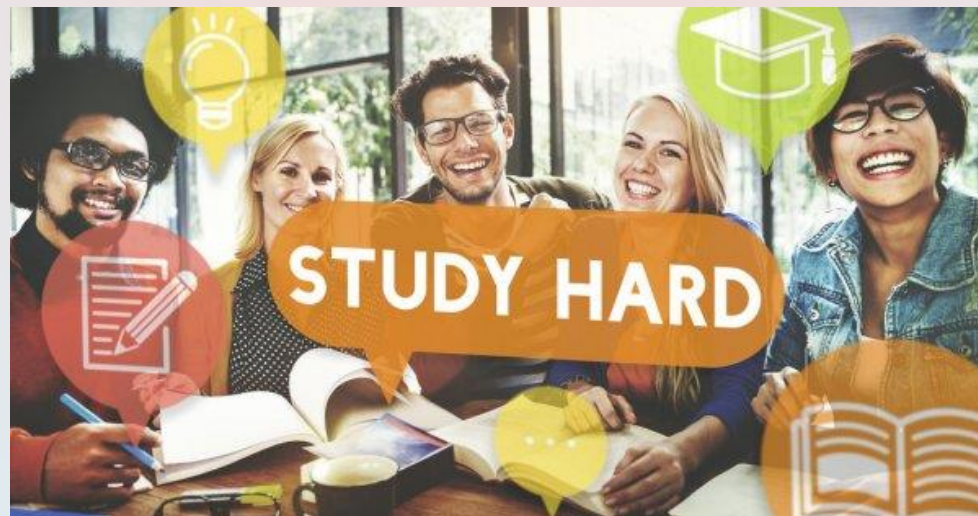
ダブルディプロマで得られる力

- 現地高校生と同等の英語運用能力を身に付ける事が目的です。
- 英語が話せるだけでなく、学力面でも確かな力を身に付けることを目指します。



現地ディプロマ取得について

- 国によって異なりますが、現地生徒と同じ進度で授業を進めていきます。
- 英語が完璧になるためには、ただ現地で過ごしていただけでは身につけません。2年間しっかりと勉強するんだという意欲をもって臨みましょう。



留学のための諸条件

- 現地校により理想の生徒像があります。
 - ※入学の可否は各学校が決定します。
- CEFR B1(英検2級)程度の英語運用能力
- グローバルスタンダードの意識とマインドが重要
- 卒業認定に向けたハードな学習姿勢への耐性



現在挑戦中の方の生活(平日)

- 平日8時30分～15時30分まで授業
- 17時00分頃～20時00分頃まで復習(自習)
- 20時30分ホストファミリー先へ帰宅
- 23時00分頃まで次の日の予習(自習)



現在挑戦中の方の生活(土日)

- 土日はホストファミリーと一緒にゆっくりすると決めているそうです。
- オン、オフを平日・休日で切り替えています。



留学中に起こった大変な事

- 英語を聞き取る事が出来ず、授業についていけない。

⇒オンラインで英語学習を出来る機会を設け、通常授業に少しでも付いていける様に、猛勉強した。



留学中に起こった大変な事

- 日本人だからという理由で偏見を持つ人がいた。

⇒外国人だからとかではなく、そういう人がいるという事を理解した。今は友達と喧嘩もするが、様々な価値観がある事を理解できるようになった。



アイルランドの紹介



●日本と同じ島国

北海道とほぼ同じ大きさ 緯度は少し上

●人口 約500万人

●首都ダブリン

●通貨 ユーロ

アイルランドの魅力 環境と治安の良さ

- 友好的な国 暮らしやすい国
- 歴史と伝統のある国
- 犯罪率が非常に低く、とても安全



アイルランドの魅力

首都（ダブリン）



アイルランドの教育システム



Primary Education (日本の幼稚園・小学校)

Year 1 – 8

幼稚園2年間・小学校6年間



Secondary Education (日本の中学校・高等学校)

Junior Cycle (Years 1-3) (中学校1～3年生)

Transition Year (Year 4) (高校1年生)

Senior Cycle (Years 5-6) (高校2・3年生)



Higher Education (高等教育)

Universities (大学)

Institutes of Technology (県立工科大学)

Colleges of Education (公立短期大学)

NUI Colleges (国立6大学)

State Aided Institutions (公立専門学校)

Private Colleges (私立短期大学)

アイルランドの教育システム



Secondary School (6年間教育)

Senior Cycle (シニア・サイクル)

Leaving Certification Examination (高2・3の学年で学ぶ)

(リービング・サーティフィケート・イグザミネーション)

高校卒業資格と大学入学テストを兼ね備えた試験を
卒業時に受験します。

最低6科目以上の受験が必要とされています。

(イギリスのA-Levelでは最低 3 or 4 科目)

アイルランドの教育システム



Leaving Certificate (Leaving Cert)

高校卒業資格

5科目以上で40%以上を取得できれば高校卒業と判断される

40%以上取得できない場合は、高等課程修了という事が出来る

日本では3年間かけて学ぶ内容を2年間で学んでいるので、

授業進度や学習時間はかなり求められる

※進学先の大学によって求められる資格は異なります。

Leaving Cert subjects

Practical Group

Construction Studies / Engineering / Design & Comm Graphics / Technology

Science Group

Agricultural Science / Applied Maths / Biology / **Chemistry** / **Mathematics** / Physics / Physics and Chemistry / **Computer Science**

Artistic & Creative Group

Art / Music

Humanities Group

Arabic / Classical Studies / **English** / French / Gaeilge / German / Hebrew Studies / History / Italian / **Japanese** / Latin / Russian / Spanish

Leaving Cert subjects

Other Language

Ancient Greek /

Social Group

Geography / Home Economics / Religious Education

Religious Education (Non Exam)

Physical Education / Politics & Society

Business Group

Accounting / **Business** / **Economics** /LCVP Link Modules

アイルランドの教育システム



Leaving Certificate (Leaving Cert)

英語力：CEFR B1程度（英検2級相当）

一般的にアイルランドの学校で卒業を目指す、日本からの留学生は3年間かけて勉強されます。

到着後すぐにテスト対策授業がスタートしますので、生徒本人の覚悟が必要となります。

Speakingの力も最低限、先生にわからない所を聞きに行ける程度の能力があった方が望ましい。

ダブルディプロマプログラム

必要な英語レベル(CEFR BI程度)

各資格・検定試験とCEFRとの対照表

文部科学省(平成30年3月)

CEFR	ケンブリッジ 英語検定	実用英語技能検定 1級-3級	GTEC Advanced Basic Core CBT	IELTS	TEAP	TEAP CBT	TOEFL iBT	TOEIC L&R/ TOEIC S&W
C2	230 200 (230) (210)			9.0 8.5				
C1	199 180 (190)	3299 2600 (3299)	1400 1350 (1400)	8.0 7.0	400 375	800	120 95	1990 1845
B2	179 160 (170)	2599 2300 (2599)	1349 1190 (1280)	6.5 5.5	374 309	795 600	94 72	1840 1560
B1	159 140 (150)	2299 1950 (2299)	1189 960 (1080)	5.0 4.0	308 225	595 420	71 42	1555 1150
A2	139 120 (120)	1949 1700 (1949)	959 690 (840)		224 135	415 235		1145 625
A1	119 100 (100)	1699 1400 (1699)	689 270 (270)					620 320

は各級合格スコア

※括弧内の数値は、各試験におけるCEFRとの対象関係として測定できる能力の範囲の上限と下限

ダブルディプロマプログラム

必要な英語レベル(CEFR BI程度)

熟練した 言語使用者	C2	聞いたり読んだりした、ほぼ全てのものを容易に理解することができる。いろいろな話し言葉や書き言葉から得た情報をまとめ、根拠も論点も一貫した方法で再構築できる。自然に、流暢かつ正確に自己表現ができる。
	C1	いろいろな種類の高度な内容のかなり長い文章を理解して、含意を把握できる。言葉を探しているという印象を与えずに、流暢に、また自然に自己表現ができる。社会生活を営むため、また学問上や職業上の目的で、言葉を柔軟かつ効果的に用いることができる。複雑な話題について明確で、しっかりとした構成の、詳細な文章を作ることができる。
自立した 言語使用者	B2	自分の専門分野の技術的な議論も含めて、抽象的な話題でも具体的な話題でも、複雑な文章の主要な内容を理解できる。母語話者とはお互いに緊張しないで普通にやり取りができるくらい流暢かつ自然である。幅広い話題について明確で詳細な文章を作ることができる。
	B1	仕事、学校、娯楽などで普段出会うような身近な話題について、標準的な話し方であれば、主要な点を理解できる。その言葉が話されている地域にいるときに起こりそうな、たいていの事態に対処することができる。身近な話題や個人的に関心のある話題について、筋の通った簡単な文章を作ることができる。
基礎段階の 言語使用者	A2	ごく基本的な個人情報や家族情報、買い物、地元の地理、仕事など、直接的関係がある領域に関しては、文やよく使われる表現が理解できる。簡単で日常的な範囲なら、身近で日常の事柄について、単純で直接的な情報交換に応じることができる。
	A1	具体的な欲求を満足させるための、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることができる。自分や他人を紹介することができ、住んでいるところや、誰と知り合いであるか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりすることができる。もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助けが得られるならば、簡単なやり取りをすることができる。

(出典) ブリティッシュ・カウンシル、ケンブリッジ大学英語検定機構

寮を持っている学校をご紹介します。

平日はかなりの学習を求められるため、寮を持っている学校がDD Programの対象となります。

8時 ホストファミリーによる送迎

9時～15時30分 授業

15時30分～16時30分 運動などの自由時間

16時30分～17時30分 自習

17時30分～18時30分 夕食

18時30分～20時00分 自習

20時 ホストファミリーが迎えに来てくれ帰宅



Rockwell Collge (**私立・共学校**)

男子(寮生活)

女子(学外寮・ホームステイ)

女子生徒も寮生と同じ時間で自習時間が設けられますので、夕食も学校で摂る事になります。
平日はホストファミリー宅へ睡眠の為に帰るという状況となります。



費用概算

毎年、授業料・滞在費などが異なります。

授業料+滞在費：約340～370万円

ガーディアンシップ：約50万円（どの学校でも同一料金です）

留学手続き代行料：30万円+消費税

航空運賃：約28万円（予約確定時に料金が確定）

海外留学保険：約23万円（タイプにより異なる）

合計：約470～500万円

※為替レートにより料金が異なる事があります。